

平成29年

6月

No.117

地域医療連携室だより



Izumi Municipal Hospital
和泉市立病院

発行/和泉市立病院 地域医療連携室 (毎月1回発行)

電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331

FAX/直通 0725-41-2513

整形外科よりのご案内

平素より当院の病診連携にご協力賜りありがとうございます。H29年4月より整形外科体制の変更がありご案内させていただきます。当科は大阪市立大学の後期研修関連病院となっており、この春の異動により専門医が3名と減員になり、若手レジデント3名(卒後3-5年目)とあせて6名の体制となりました。その為、病院機能に応じた診療提供を行うにあたり、4月から原則、紹介状をおもちいただくようお願いしています。当日紹介状のない方でも可能な限り受付するようにしておりますが、診療の結果により近くの医療機関を案内させていただいております。

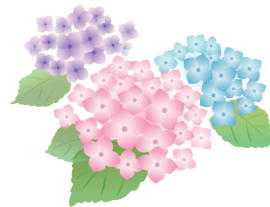
地域医療連携の皆様には紹介状を書いていたというお手数をおかけいたしますが、なにとぞご理解の上、ご協力よろしく願いいたします。

当院の特徴である人工関節センター・脊椎センターは専門外来として併設しておりますが、昨年度はそれぞれ人工関節200件・脊椎手術150件の手術を実施しました。当センターは人工関節再置換や内視鏡下脊椎手術に対応が可能

でこの地域で中心的な役割を担える体制を整えており、お悩みになっている患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。

専門外来/治療のみならず、救急要請に対しては基本的に受け入れるようにしていますので、お急ぎの場合にはお電話いただければ対応させていただきます。特に超高齢化に伴う大腿骨近位部骨折の受け入れが多くなってきています。火・木の手術日以外も午後からはほぼ毎日手術を行い、翌日からリハビリを開始して2週間前後で連携病院へ転院をお願いしており、連携病院の皆様にはこの場をお借りして御礼を述べさせていただきます。

微力ながら地域医療に貢献して参りたいと考えており、至らぬことやお気づきの点がございましたらご連絡いただければ早急に改善させていただきますので、今後ともよろしく願い申し上げます。



整形外科 部長

溝川 滋 一

病院の理念



1. 患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に務めます。
2. 患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
3. 新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
4. 思いやりのある医療人の育成に努めます。

腫瘍内科

松 井 薫



昭和50年 熊本大学卒

【資格】 日本呼吸器学会 専門医・指導医
日本呼吸器内視鏡学会 専門医・指導医
日本内科学会認定医
日本臨床腫瘍学会 暫定指導医

【趣味】 読 書 (SF ミステリー 時代物 そのほか何でも
塩野七海さんのファンです)
写 真 (初心者です 前任地 市立貝塚病院の写真クラブ員です)

肺癌の治療がやりたくて、福岡総長のお誘いをお受けしました。

大学では血液内科に所属していましたが、卒後5年で大阪に来て血液学は忘れました。羽曳野病院（大阪はびきの医療センター）で30年を肺癌治療で過ごし、その後7年間の市立貝塚病院勤務ののち、今年1月より和泉に赴任いたしました。

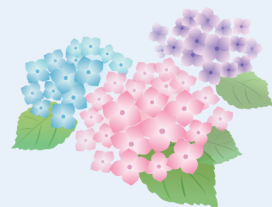
がん治療は近年急激な進歩を遂げています。肺がんについても、私がこの世界に足を踏み入れた1980年代のことを考えると、新しい薬剤、新しい治療法が次々に開発されており、予後もその時代と比べれば飛躍的に伸びたと言えるでしょう。しかし泉州特に南の地区は呼吸器系の医師不足が続いており、十分な研究体制、医療体制が

できているとは言い難い状況です。

新薬が発売されたあとも、その使い方、従来の薬剤との組み合わせ方など、研究すべきことは山積しています。若い先生方のサポートをし、当院の優れたチーム力で、納得できる医療をしていきたいと思っています。

腫瘍内科は月曜日の外来をさせていただきます。

よろしく願いいたします。



臨床研究センター

益 田 典 幸



昭和56年 鹿児島大学大学院医学研究科修了

【資 格】 医学博士
日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本呼吸器学会専門医・指導医
気管支鏡専門医・指導医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医

【趣 味】 読 書



昭和61年に総長の福岡正博先生が当時部長をされていた大阪府立羽曳野病院に、九州から呼吸器の研修に来てそのまま福岡正博先生の下で肺癌の臨床研究の研鑽を積みました。当時の羽曳野病院は、世界に向けて新しい質の高い情報を次々と発信し、燦然と輝いておりました。福岡先生が近畿大学の教授として栄転され、私は肺癌の化学療法が手薄であるということで、福岡先生のご推薦と当時北里大学医学部長であられました吉村博邦先生のお招きにより平成14年9月、北里大学の呼吸器内科学へ赴任しました。14年7か月間勤務し、それなりの教室が出来、無事神奈川県相模原から家族の待つ関西にこの3月末に帰って参りました。そして福岡先生のお招きによ

り4月から和泉市立病院で嬉々として働かせていただいております。ここには、かつて羽曳野病院で一緒に働いていた松井薫先生、多田卓仁先生、松下晴彦先生と多くおられ、楽しいです。ここを私の最後の職場にするつもりです。専門は呼吸器内科で特に肺がん化学療法です。外来は月曜日の腫瘍内科、木曜日の呼吸器内科に出ています。呼吸器の患者様がおられましたら気軽にご紹介頂けたら幸いです。

また、臨床研究センターでは症例として臨床治験を行いますので、がんの患者様で治験にご興味のある方がいらっしゃいましたら、こちらへのご紹介も承っております。

お知らせ 外来診察変更

皮膚科	6月 2日(金)	小坪恵理子 医師	休診	
精神科	6月 7日(水)	原田朋子 医師	休診	宮本沙緒里 医師 代診
	6月 9日(金)	児玉祐也 医師	休診	影山裕紀 医師 代診
耳鼻いんこう科	6月23日(金)	阪本浩一 医師	休診	
	6月30日(金)	阪本浩一 医師	休診	
眼 科	6月26日(月)	若山佳子 医師	休診	
婦 人 科	梅咲直彦医師が下記の日程で休診となり、代診医師の診察とさせていただきます。			
	6月13日(火)	15日(木)	20日(火)	22日(木) 27日(火) 29日(木)

和泉市地域医療連携推進の会 開催報告

平成29年4月22日(土) 和泉市コミュニティセンター 多目的ホールに於いて、和泉市医師会に共催頂き「和泉市地域医療連携推進の会」を開催いたしました。和泉市内の連携医療機関35施設から、医師・相談員・事務職の方々がお越し下さり、院内からと併せ92名が参加しました。

お忙しい中ご参加下さいました皆様に、心より感謝申し上げます。

当日は、和泉市立病院 村上院長、福岡総長、和泉市医師会 泉谷会長からのご挨拶と、各診療科体制の説明や、新病院のビジョン説明、地域医療連携室からのご案内と続き、最後に意見交換・懇親



会の場を設け、地域の先生方との連携と親睦を深めることができたと思います。

今回は和泉市内の医療機関との会とさせて頂きましたが、もっと地域を拡げた会へ発展させていき、地域医療連携を益々推進していく所存です。

地域医療連携室室長よりご挨拶

4月に地域医療連携室に着任しました在宅看護専門看護師の河野と申します。好きにやってくれ、と病院幹部のお墨付きを頂いて部署の改革を進める役割を担っています。目下前方・後方連携担当のスタッフについて回り、どうしてこうなってるの?これまでの経緯を教えると質問攻めにし、スタッフが気づかないでいるところを掘り起こしている最中です。スタッフはチームワーク良く、目標に向かって地道に取り組むことができる人達ですが、井の中の蛙ゆえ(?)これまでのやり方を客観的に見直したり、効率的・効果的に変えることは苦手なようです。

今年は、私の他にもMSWの橋本さん、大学を卒業したばかりの事務職員松元さん、そして6月からは、前方連携に着任予定の小泉さんと新しい仲間が増え、今迄出来なかったことに少しずつ取り組んで行こうと色々戦略を練っています。まずは意識改革!患者さんも、家族も、地域関係者も、院内関係者もハッピーになるような、それぞれの職種がいかにパフォーマンスを発揮できるか、が重点課題です。基本は相互理解。相手を知らなければ、成長や改善の糸口は見いだせませんから…。皆様、より良い地域医療連携室を目指して奮闘する我々に、ご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます!

地域医療連携室 室長 河野 政子